

高浜原発4号機 きょう再稼働狙う

放射能汚染水が漏れた高浜原発4号機（福井県高浜町）の再稼働を関西電力が26日にも狙っていることをうけ、大阪市の関電本店前で25日、「再稼働阻止」全国行動が行われました。主催は「高浜原発4号機再稼働阻止！緊急行動実行委員会」です。

午後4時からの第一部には約200人が参加し、怒りの声を上げました。参加者は関電に対して「関西電力、責任とれない」「被ばくさせるな」と唱和し、申し入れ文書を受け取るよう呼びかけました。

主催者あいさつをした古橋雅夫さん（62）は、日本政府が原子力発電をベースロード電源としていることを批判。「原発は民間企業がリスクを負えるようなものではない。危険なものであるにもかかわらず安倍政権が原発

どこに逃げると...

事故が起これば

を国策として進めていくことが問題だ」と訴えました。

中村明子さん（45）の一人はどこに逃げるといいのか。映画や空想ではない危険な再稼働だ」と憤りました。

関電前怒りの行動



関電に向けて申し入れ文書を読み上げる参加者25日 大阪市

関電が発表

関西電力は25日、高浜原発4号機（福井県高浜町）を26日午後5時に起動し、再稼働させると発表しました。新規規制基準に基づく原発の再稼働は九州電力川内原発1、2号機（鹿児島県薩摩川内市）、高浜3号機に続き全国で4基目。

4号機の運転は約4年7カ月ぶり。関電によると、起動から約半

1・2号機「適合」自由法曹団が抗議声明発表

自由法曹団（団長・荒井新一弁護士）は25日、原子力規制委員会が関西電力高浜原発1、2号機について新規規制基準に「適合」したとする審査書案を了承したことに抗議する声明を発表しました。

声明は、東京電力福島第1原発事故から5年がたとうとしているなか、電力は安定的に供給され電力不足の懸念はなく、運転開始か

日後の27日午前6時ごろ、核分裂反応が連続的に生じる「臨界」に達するとしています。

29日午後2時ごろから発電と送電を始め、3月下旬の営業運転を予定しています。

原子炉には4体のウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料が搬入されており、4号機では初めてプルトニウムが発電を行うこととなります。

3号機は1月29日に再稼働しており、26日に最終検査を終えて営業運転に移る見通しと

ら40年を超えて「劣化した1、2号機まで再稼働させる必要性など皆無である」と指摘。老朽原発の再稼働自体、過酷事故が起きる

危険性は高まるにもかかわらず、事故に備える住民の避難計画で避難先の自治体などの協議は進んでおらず、「月が一の事態に住民の安全を確保することなど不可能」と強調しています。

その上で、「もはや周辺住民の安全確保など眼中になく、政府、事業者の都合のみを優先した施策を押し進めるもの」と批判し、今後の運転延長の認可はやめるべきだと主張しています。

2/26 赤旗